

2025年3月期 決算説明会



2025年6月3日（火）

株式会社フライングガーデン

【証券コード: 3317】



代表取締役社長 野沢 卓史

<http://www.fgarden.co.jp/>

目次

決算概況	P 2
今後の展開	P 8
株主還元	P17
ご参考資料	P19
・企業概要	P 20
・事業概況	P 24

売上高は前期に比べて来客数が堅調に推移したことにより、6.2%増の8,265百万円、営業利益は1.5%増の558百万円、経常利益は2.1%増の589百万円と増益となりましたが、法人税等の増加により当期純利益は11.2%減の352百万円と減益となりました。

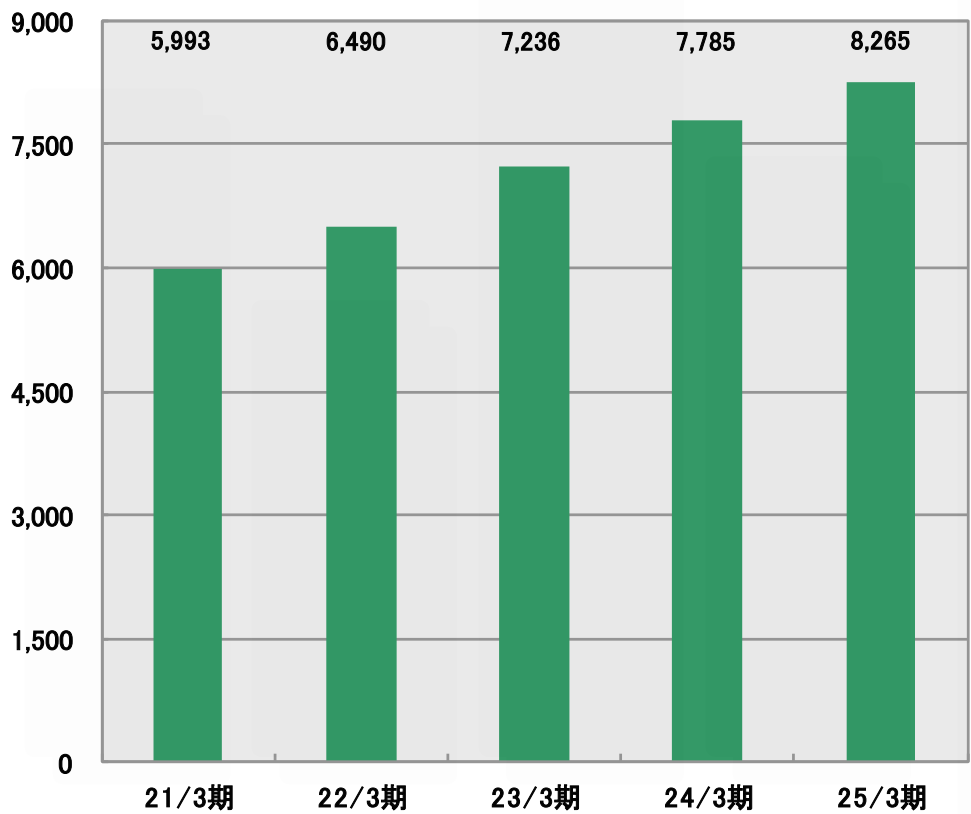
(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
売上高	7,785	8,265	480
売上総利益	5,391	5,591	200
営業利益	550	558	8
経常利益	576	589	13
当期純利益	396	352	△44

売上高の
推移

売上高推移
のPOINT

(単位:百万円)

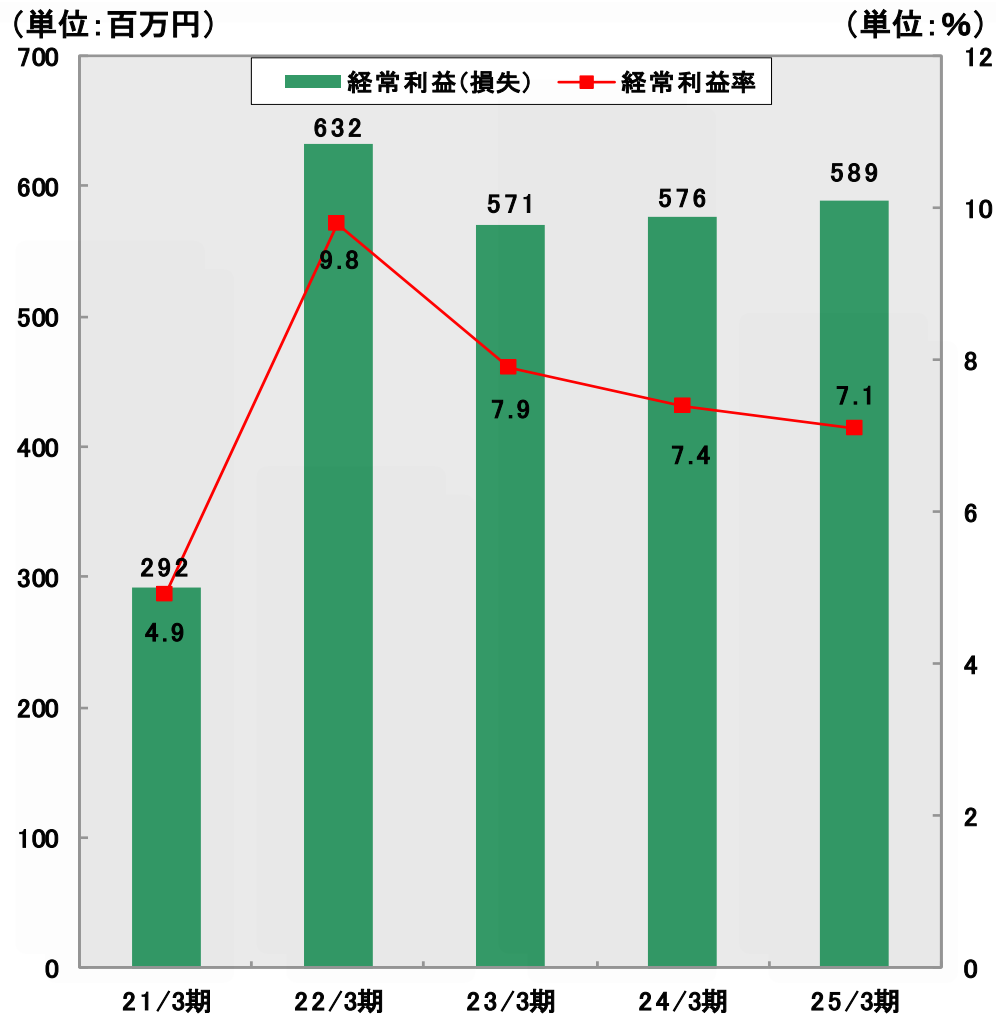


- 既存店売上高は前期比 105.8%
- 当期は14年ぶりの新店となる「さいたま大和田店」を開店 (期末店舗数:59店舗)

これらの結果、当期の売上高は8,265百万円

経常利益／率
の推移

経常利益推移
のPOINT



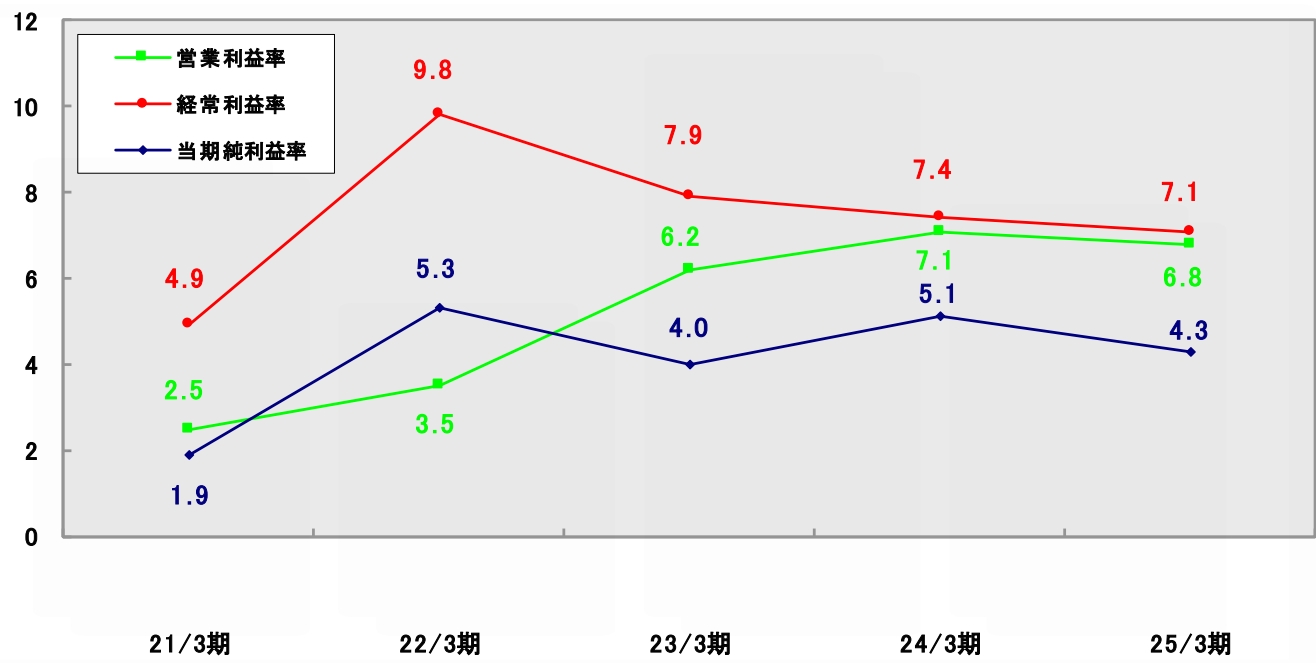
●原価率の上昇(前期より1.6%上昇)はあったものの、売上高の増加により売上総利益が増加(200百万円増)

●経費節減に努めたことにより販管費率の減少(前期より1.3%減少)
金額としては192百万円の増加

これらの結果、当期の経常利益は、前期比13百万円増の589百万円
経常利益率は7.1%(前期より0.3%減少)

利益率の推移

(単位: %)



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期
売上原価率(%)	29.2	28.3	29.3	30.8	32.4
販管比率(%)	68.3	68.1	64.5	62.2	60.9
減損損失(百万円)	78(8店舗)	71(10店舗)	104(13店舗)	23(7店舗)	33(8店舗)

(単位:百万円)

	2024年3月 前期末	2025年3月 当期末	増減額	主な増減要因
流動資産	1,942	1,927	△15	現金及び預金48百万円減少
固定資産	2,512	2,886	374	
有形固定資産	1,545	1,921	376	新店、移転新築等による増加、減損損失33百万円計上
無形固定資産	164	170	6	
投資その他の資産	802	793	△9	
資産合計	4,454	4,813	359	
流動負債	957	959	2	
固定負債	547	594	47	
負債合計	1,504	1,554	50	
株主資本	2,950	3,259	309	当期純利益352百万円計上 配当金支払△43百万円計上
純資産合計	2,950	3,259	309	
負債純資産合計	4,454	4,813	359	

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	644	681	37	税引前当期純利益555百万円 (2百万円増加) 未払金の減少額2百万円(70百 万円減少)
投資活動による キャッシュ・フロー	△355	△806	△451	有形固定資産の取得による支 出667百万円(332百万円増加)
財務活動による キャッシュ・フロー	△36	△43	△7	配当金の支払額43百万円(7百 万円増加)
現金及び現金同等物 の増加額(△は減少)	252	△168	△420	
現金及び現金同等物 の期首残高	1,111	1,364	252	
現金及び現金同等物 の期末残高	1,364	1,195	△168	

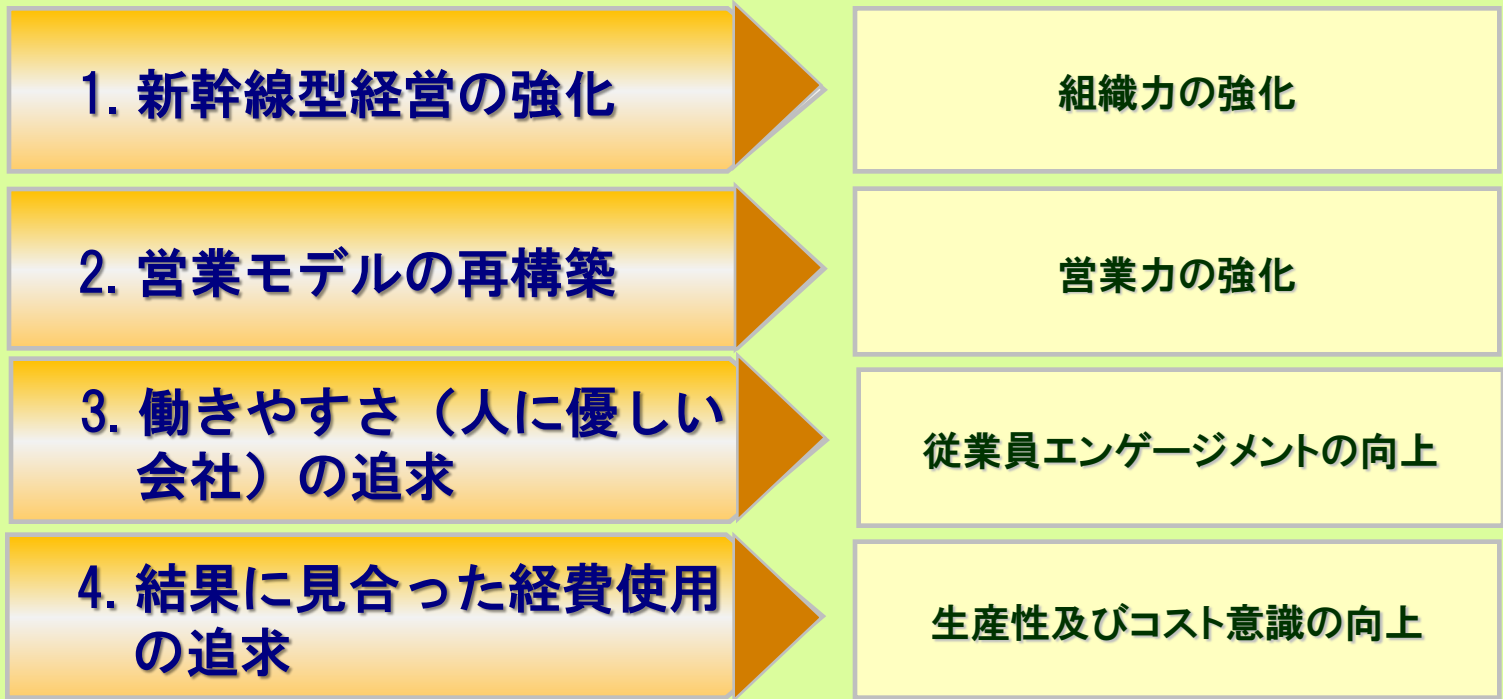
フリー・キャッシュ・フロー	289	△125	△414	
---------------	-----	------	------	--

顧客に支持される主力商品を持っていることと
ホスピタリティを原点としたサービス品質の高さ

- ▶ 他社では提供しづらい爆弾ハンバーグをリーズナブルな価格で提供
- ▶ 爆弾ハンバーグを中心とした商品構成でオペレーション効率が向上
- ▶ 「食の安全・安心」に対する徹底した対応
- ▶ 質の高い人財によるホスピタリティサービス

- I. 人に優しい会社、コミュニケーションの取れたお店を作り、質の高い人材を育成し、サービスレベルと生産性を高める
- II. 当社でしか感じられない価値のある、肉の専門店モデルを追求する

達成のための4つの柱



(1) 自走式組織の強化

- ①各部室の明確な目標設定と成果の追求
 - ・ 半期ごとに本部長と進捗を確認する
- ②能動的に仕事に取り組む姿勢の徹底教育
 - ・ 待ちではなく自分発信で継続的に仕事に取り組むよう要求
 - ・ 会社をワンランク上のレベルに引き上げる施策を部室内で検討、実行させる

(2) 部室間の連携強化

- ①週1回各本部ごとの情報交換の励行
 - ・ 会社のスタンダードを軸とした価値を共有する
- ②関連部長のミーティングの定型化
 - ・ 案件ごとに事務レベルまで含めたミーティングを習慣化する

組織力の強化

(1) 付加価値の向上

①お客様、従業員とのコミュニケーションの強化

- ・ 地域に密着した店舗

地域の人々に無くてはならない店舗を目指し、お客様、従業員への声掛けの励行

- ・ 栃木工場研修の実施

各店長が看板商品の製造過程を学び、理解を深める

- ・ 店舗にて従業員同士での月2回の試食実施

商品理解を深め、コミュニケーションを促進する

②国産米ライスおかわり自由の継続

(2) 店舗オペレーションの改善

①外部コンサル活用による店舗オペレーションの改善プロジェクト

- ・ 客数増と生産性の向上を目指す
- ・ オペレーションのコストを可視化し、改善する

営業力の強化

(3) 販売促進

- ①爆弾ハンバーグ注文率60%以上を目指した商品の改善
 - ・和風ソース、付け合わせのブラッシュアップ
 - ・季節商品の販売（爆弾ガパオセット等）
- ②季節のデザート販売
 - ・かき氷、メロンデザート等
- ③アプリ、SNSでの販促強化
 - ・インスタグラム等での発信頻度の増加
 - ・SNS上でのプレゼント企画の強化
 - ・各企画、キャンペーン終了後、その都度検証を実施

(4) お客様の利便性向上のための店舗投資（総額381百万円）

- ①新規出店 2 店舗（261百万円）
 - ・前橋川原店（5月27日オープン）他 1 店舗予定
- ②改装 4 店舗（120百万円）
 - ・バリアフリーストレイル増設、すべりにくい床材への張替え等

営業力の強化

(1) 働きやすさ向上のための施策、設備投資

- ① 来客予測のA I 活用による作業の単純化
- ② スチームコンベクションオーブン全店導入による店舗オペレーションの簡素化 (44百万円)
- ③ ウェイティングシステムの40店舗追加導入 (14百万円)

(2) モチベーション向上のための取り組み

- ① 店休日の増加 (年1回→年3回)
- ② 給与の昇給 (初任給23千円増加)
- ③ 持株会奨励金の2年連続増額 (3%→6%→10%)
- ④ 誕生日祝い食事券増額 (8千円→10千円)

(3) その他

- ① 特定技能外国人の採用
 - ・ 今期以降、継続的に一定数を採用する
- ② 女性役員、女性部室長の選任予定

従業員エンゲージメントの向上

(1) 予算統制の徹底

- ①検討会で各部室が自ら予算を管理し、改善できるよう徹底する
- ②各部室が使用した経費に対して、最大限の成果を求める

(2) 効率化のための設備投資（総額23百万円）

- ①勤怠給与システム入替による店舗勤怠管理の簡素化（13百万円）
- ②冷凍冷蔵庫の入替（6店舗9.5百万円）



生産性及びコスト意識の向上

当面の目標として売上高100億円、
売上高対経常利益率6%以上を目指す

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)	目標
売上高(百万円)	7,236	7,785	8,265	9,000	10,000百万円
経常利益(百万円)	571	576	589	560	600百万円以上
売上高対経常利益率(%)	7.9	7.4	7.1	6.2	6%以上
当期純利益(百万円)	291	396	352	330	
受取助成金(百万円)	100	2	3		



着実に安定的な成長を目指して

(単位:百万円)

	2025年 3月期	2026年3月期			前期比 (%)
		上期予想	下期予想	通期予想	
売上高	8,265	4,500	4,500	9,000	108.9
売上原価	2,674	1,500	1,500	3,000	112.2
売上総利益	5,591	3,000	3,000	6,000	107.3
営業利益	558	270	270	540	96.6
経常利益	589	280	280	560	95.0
当期純利益	352	165	165	330	93.7

通期業績の前提

- 新規出店計画 2店舗

●設備投資計画 657百万円
(修繕・改装を含む)
- 既存店売上高 104.8%

●減価償却費 257百万円

配当について

業績水準やこれからの成長に向けた内部留保を勘案しながら、安定した利益還元に努めていく方針です。

	第2四半期	期末	年間	配当利回り (5/22現在)
2022年3月期	—	30 (うち記念配当10円)	30 (うち記念配当10円)	
2023年3月期	—	25	25	
2024年3月期	—	30	30	
2025年3月期	—	30	30	
2026年3月期(予想)	—	30	30	株価2,548円 利回り1.2%

株主優待について

当社は3月末の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に年1回株主優待を実施しております。

保有株式数	優待内容
100株～499株	当社株主ご優待券500円4枚(2,000円) または当社商品
500株～999株	当社株主ご優待券500円12枚(6,000円) または当社商品
1,000株以上	当社株主ご優待券500円24枚(12,000円) または当社商品

企業概要 P 20

事業概況 P 24

爆弾ハンバーグをメインとした
郊外型レストラン『フライングガーデン』を
北関東を中心に、直営で多店舗展開

会社概要

- 社名：株式会社フライングガーデン
：FLYING GARDEN CO., LTD.
- 設立：1981年12月4日
- 代表者：代表取締役社長 野沢 卓史
- 事業内容：郊外型レストランチェーンの経営
- 売上高：82億65百万円
- 店舗数：59店(2025年3月末現在)
- 従業員数：171名 <臨時雇用者数(外数) 624名>

私達は人類の幸せを向上させるために、思いやりの心を持つ優秀な人財を採用育成し、社員の幸せと、お客様満足度日本一の企業を目指し、適正利潤を確保し、社会貢献致します。



食の安全・安心
の追求

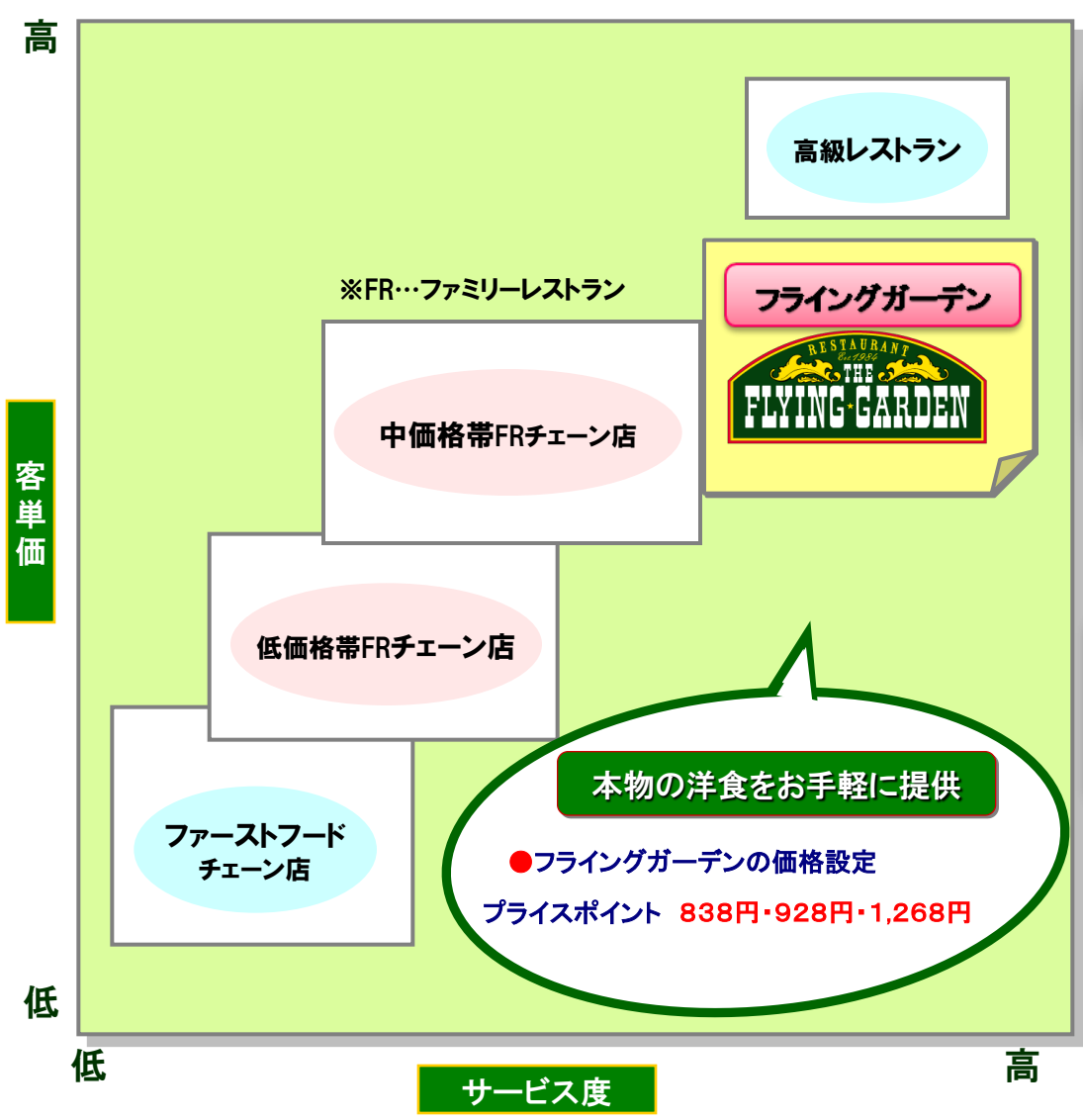


ホスピタリティレストラン

美味しさの追求

きめ細かい
サービスの追求





主なメニュー

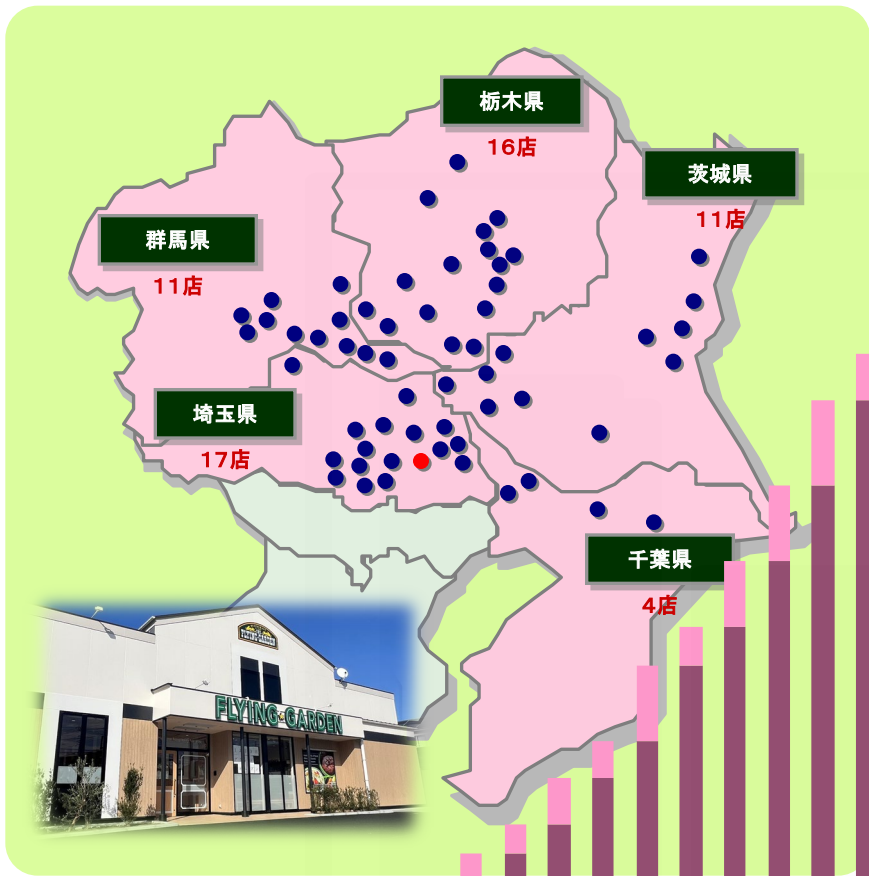


爆弾ハンバーグ



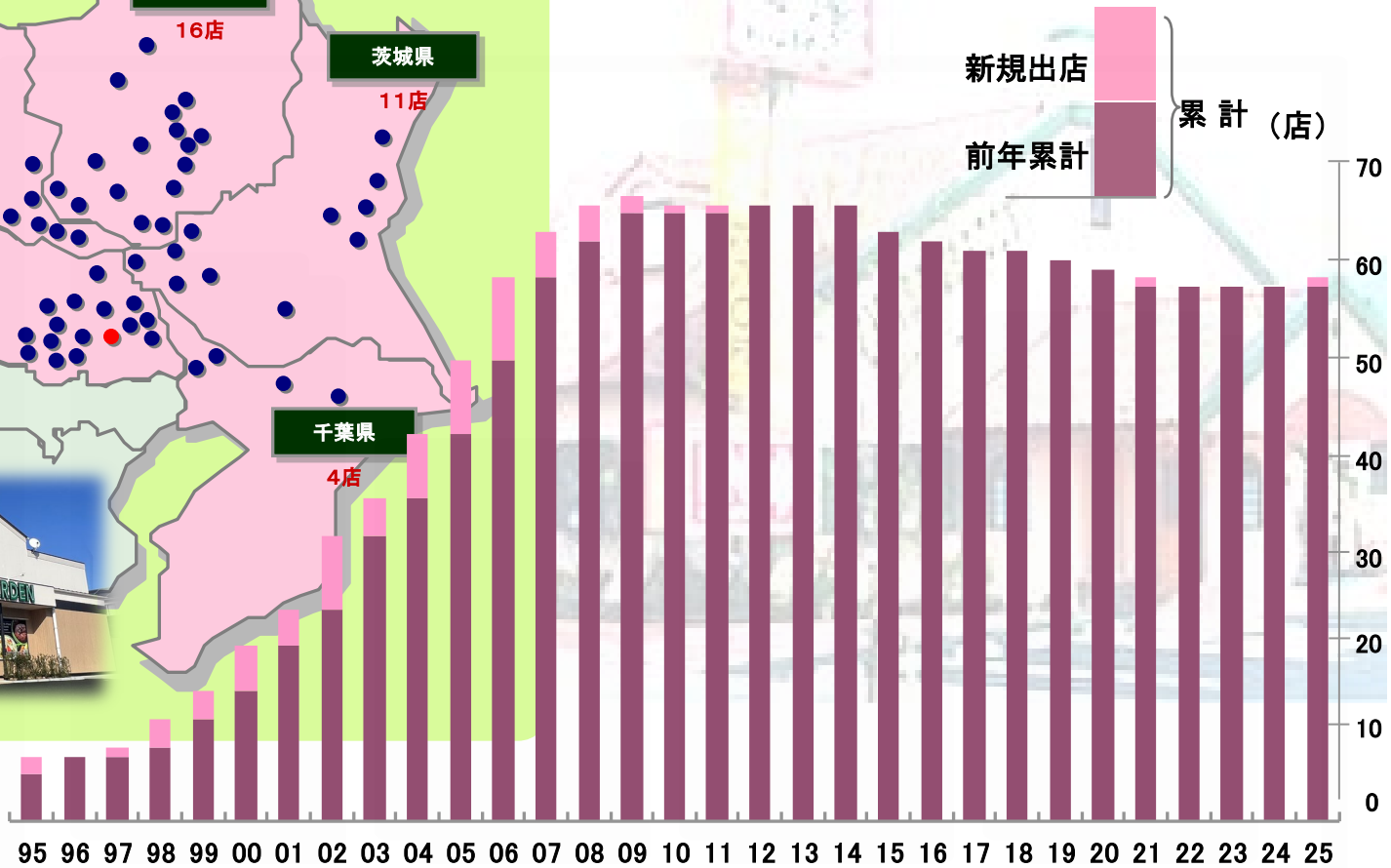
若鶏のうまいまい焼き

店舗展開の状況（2025年3月31日現在）



店舗数推移

2025年3月末現在:59店舗
（テイクアウト専門店 フラガ☆デリカ1店舗含む）
2024年12月3日 さいたま大和田店 開店



	2024年3月期			2025年3月期			
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	店舗数 (店)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	店舗数 (店)
埼玉県	2,256	29.0	16	2,444	29.6	108.3	17
栃木県	2,145	27.6	16	2,295	27.8	107.0	16
群馬県	1,454	18.7	11	1,491	18.0	102.5	11
茨城県	1,328	17.1	11	1,417	17.1	106.7	11
千葉県	600	7.7	4	617	7.5	102.8	4
合 計	7,785	100.0	58	8,265	100.0	106.2	59

※上記の金額には消費税等は含まれておりません。

	2024年3月期		2025年3月期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	7,785	100.0	8,265	100.0	106.2
爆弾ハンバーグ	3,732	※2 47.9	4,067	※2 49.2	109.0
ハンバーグ	904	11.6	912	11.1	100.9
チキン	646	8.3	643	7.8	99.5
サラダ	167	2.2	183	2.2	109.6
その他	2,333	30.0	2,457	29.7	105.3

※1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

※2 爆弾ハンバーグの売上高構成比と注文率は異なります。
(注文率は現在55%前後で推移しております。)

< I R 担当窓口 >

株式会社フライングガーデン

部署 : 財務部
役職 : 財務部長
氏名 : 高木 幸広
TEL : 0285-30-4129
FAX : 0285-22-2133



<http://www.fgarden.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。